

平成20年1月の火災・救急・救助ニュースについて

火 災

1 火災概況

▲は減を示す

区 分	本 年 1 月	前 年 1 月	本 年 累 計A	前 年 同 期 累 計B	増 減 A－B
出 火 件 数 合 計 (件)	10	13	10	13	▲3
建 物 火 災	4	4	4	4	0
林 野 火 災	2	2	2	2	0
車 両 火 災	1	2	1	2	▲1
船 舶 火 災	0	0	0	0	0
その他の火災	3	5	3	5	▲2
建物焼損床面積 (m ²)	調査中	84	調査中	84	調査中
損 害 額 合 計 (千 円)	調査中	7,675	調査中	7,675	調査中
死 者 (人)	2	1	2	1	1
負 傷 者 (人)	1	1	1	1	0

2 出火原因

区 分	本 年 1 月	本 年 累 計	区 分	本 年 1 月	本 年 累 計	区 分	本 年 1 月	本 年 累 計
た ば こ	0	0	排 気 管	0	0	灯 火	0	0
こ ん ろ	0	0	電 気 機 器	0	0	衝突の火花	0	0
か ま ど	0	0	電 気 装 置	0	0	取 灰	0	0
風呂かまど	0	0	電灯・電話等の配線	0	0	火 入 れ	0	0
炉	0	0	内 燃 機 関	0	0	放 火	0	0
焼 却 炉	0	0	配 線 器 具	0	0	放火の疑い	2	2
ス ト ー ブ	0	0	火 あ そ び	0	0	そ の 他	1	1
こ た つ	0	0	マッチ・ライター	0	0	不明・調査中	5	5
ボ イ ラ ー	0	0	た き 火	2	2	合 計	10	10
煙道・煙突	0	0	溶接機・切断機	0	0			

※建物焼損損害額、損害額、出火原因は確定値ではありません。

【春の火災予防運動（3月1日～3月7日）を実施】

「火は見てる あなたが離れる その時を」を平成19年度の防火標語として、3月1日から3月7日まで全国一斉に火災予防運動が展開されます。

救 急

1 救急概況

▲は減を示す

区 分	本 1 年 月	前 1 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A－B
出 動 件 数	1,046	937	1,046	937	109
搬 送 件 数	974	856	974	856	118
不 搬 送 件 数	72	81	72	81	▲9
搬 送 人 員	997	880	997	880	117

2 事故種別出動件数

区 分	本 1 年 月	本 累 年 計	区 分	本 1 年 月	本 累 年 計
火 災	3	3	一 般 負 傷	146	146
自 然 災 害	0	0	加 害	12	12
水 難	0	0	自 損 行 為	10	10
交 通	99	99	急 病	695	695
労 働 災 害	5	5	そ の 他	74	74
運 動 競 技	2	2	合 計	1,046	1,046

【正しい救急車の利用を】

当消防本部では12隊の救急隊で対応しておりますが、救急要請が重なることがしばしばあります。

救急出動中に同じ区域の消防署から要請のあった場合は、他の区域の消防署から出動しなくてはなりませんので、救急車の到着が遅れることになります。

救急車を必要としない場合はタクシーを利用するなど「救急車の正しい利用に協力してください。」

救 助

1 救助概況

区 分	本 1 年 月	前 1 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A－B
出 動 件 数	10	8	10	8	2
活 動 件 数	7	4	7	4	3
救 助 人 員	10	7	10	7	3

2 事故種別出動件数

区 分	本 1 年 月	本 累 年 計	区 分	本 1 年 月	本 累 年 計
火 災	3	3	建物等による事故	1	1
交 通 事 故	6	6	ガス及び酸欠事故	0	0
水 難 事 故	0	0	破 裂 事 故	0	0
風水害等自然事故	0	0	そ の 他 の 事 故	0	0
機械による事故	0	0	合 計	10	10

【シートベルトを着用しましょう】

軽乗用車と普通自動車とが交差点で衝突して、軽乗用車が横転するという交通事故が発生しましたが、救助隊員が駆け付けた時には、既にその軽乗用車の運転者は自力で車外に出ていて、もう一方の運転者と共にシートベルトを着用していたため、双方共かすり傷ひとつ負いませんでした。

あなたも車に乗る時には、必ずシートベルトを着用しましょう。